

子どもが健やかに生まれ そだつ社会環境を

～ 登別市次世代育成支援行動計画策定委員会～

12月16日(火)、市民会館で登別市次世代育成支援行動計画策定委員会の初会合が開かれました。

この委員会は、国が少子化と子育てに関する総合的な対策を全国的に推し進めるため、平成15年7月に制定した『次世代育成支援対策推進法』で市町村に対し行動計画の策定を義務付けたことを受けて設けられたもので、市は行動計画を平成16年度中に策定することになっています。

この日は、行動計画の策定に当たる17人に上野市長が委嘱状を手渡した後、市職員から『次世代育成支援対策推進法』の説明が行われました。

委員会では、今年度、市内の少子化や子育てに関する現状を把握。市が独自に実施している子育てなどに関するニーズ調査なども参考にして、平成16年度に行動計画を策定し、平成17年度から事業を進めることにしています。



上野市長から委嘱状を受け取る委員



このままでは、地球は…

～ 富良野塾公演『地球、光りなさい!』～

12月19日(金)、市民会館で富良野塾公演『地球、光りなさい!』が行われました。

この劇の舞台は、クリスマスの日の人里離れた山の飯場。そこに突如、宇宙船が着陸し、2人の女性の宇宙人が降り立ちます。驚きの中で接触を図る7人の労働者に、彼女らは3億年前、環境破壊で自らの星を失い、今は宇宙船の動力となるきれいな水を求め、宇宙をさまよっていることを語ります。

水の豊かな地球。ところが現実の地球の水は…。

私たちの気づかないところで進む地球の危機に、宇宙人は「悲劇を繰り返さないで」と警告します。

この日の観客は、約450人。説得力のある演技とシナリオに、演劇の素晴らしさと地球環境の大切さを実感していました。

わが家自慢の味が勢ぞろい

～ 第27回つけものフェスティバル～

1月8日(木)、市民会館で『第27回つけものフェスティバル』(同実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、日本の伝統食・漬物を次世代に引き継いでいくことを目的に毎年開かれているもので、今回は49人の市民から93点の漬物が出品されました。

出品者や一般の参加者約150人が見守る中、女性団体や調理師、過去の受賞者などの審査員が部門ごとに並べられた漬物を試食しながら審査。いずれ劣らぬ出来栄のおふくろの味に悩みながら受賞作品を決めました。

表彰式の後、試食会が開かれ、参加した市民はわが家の味付けの参考にと、受賞作品をじっくりと味わっていました。

